

氏名	大岡 華子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	社会福祉学				
学位	修士(福祉社会)				
学歴	2002年3月 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業 2004年3月 法政大学大学院人間社会研究科福祉社会学専攻(修士課程)修了				
経歴	2012年10月 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教				
所属学会(役職)	日本社会福祉学会・日本社会福祉士会・埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
(2) 論文					
1	該当なし				
2					
(3) 学会発表					
1	該当なし				
2					
(4) その他					
1	該当なし				
2					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	日本学術振興会科学研究費(若手研究B)	ホームレスや元ホームレスと生活保護制度の接点に関する実証的研究・研究代表者			2016.4~2018.3
2					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	社会福祉概論	2016.4~2016.8	初年次導入科目であることから、具体的でわかりやすい講義になるように、映像・新聞記事なども活用し授業を展開した。一部オムニバス形式を用い、1年次から学科内の教員の講義を通して教員の研究分野に触れられるように工夫をした。		
2					
(2) 演習					
1	社会福祉演習	2016.4~2016.8	初年次導入科目であることから、レポートの書き方等大学での学ぶための基礎的な力を演習を通して身につけられるように工夫をした。		
2	ソーシャルワーク演習 I	2016.10~2017.2	ヒューマンケア体験実習での学びを踏まえた上で、ソーシャルワーカーとしての基礎的な援助技術を身につけられるよう工夫をした。タブレットを演習のなかで取り入れた。		
3					
(3) 実習					
1	ヒューマンケア体験実習	2016.9~2016.10	障害者施設2施設を担当し、学生の指導を行った。		
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2016.6~2016.8	ソーシャルワーク実習Ⅱに向けて、個人票や実習課題の添削、事前学習の指導を行った。		
3	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2016.8~2016.10	地域包括支援センター・社会福祉協議会等の相談機関で実習を行う学生の指導を行った		
4	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	2016.10~2016.12	ソーシャルワーク実習Ⅱの事後指導として、グループ学習の指導、報告書作成や報告会にむけての指導を行った		
(4) 論文指導					
1	該当なし				

(5) その他			
1	「どんどん変わる福祉の制度～いつ変わる？どう変わる？どう備える？」	一般社団法人さいたまキャリア教育センター	さいたまキャリア教育センター通信(2016/10&11)
2			
3			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	第16回はたらくらぶゼミ	一般社団法人さいたまキャリア教育センター	こころの病気とのつきあい方"リカバリー"を知ろう
2			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	目黒区	障害支援区分審査会 委員	2012.4～
2			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教育開発委員会 教務運営部会員(社会福祉学専攻)		
2			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		